



**Q** 総点検結果の報告について県では問題ありが2件に対して東京電力では不正なしとなつているがどうなのか。国と東京電力で話し合つて緩和されたのでは。

**A** (県) 安全上は問題なく、通達に基づき義務ではないが、情報提供上問題あるものが2件としてとらえたもの。

**Q** 発電所内部の人から不都合な報告の書き換えや変更の指示が度々行われていたと聞いている。今回の不祥事を契機に完全になくなったのか。

**A** (東京電力) そのような事実

は承知していない。不都合や不適合は品質保証上からは、そこから反省して設備保全や保全の在り方を改善して行くことが大事であり、そういう点が不十分ならなお一層改善する。不適合から学んで改善することを常に発電所の組織として行っていく。

**Q** 「何々がだめだ」だけではなく、例えば原発が全部止まって停電した時に代わりの電力源はなど、代替案、方法論を提議するのも地域の会では

**A** (議長) 議論が散漫になつており、テーマを絞るため、後日、意見を頂き、テーマを決めたい。

**Q** 委員の知識レベルもいろいろあるのでまずは現場を見たい。

**A** (事務局) 6月1、2日に発電所視察を設定したい。

**Q** 北朝鮮問題で軍事力行使した場合の発電所への攻撃を心配している。首相が米大統領と会う予定だが、地元から首

相へ平和解決を要望してもらいたい。

**A** (市長) そういうお気持ちも総理に直接は不可能だろうが、国に訴えたいと考えている。

この質問・意見を受けて、5月16日に柏崎市長が西山町長、刈羽村長との連名による総理大臣、外務大臣、経済産業大臣あての「原子力発電所問題に関する要望書」を経済産業大臣に手渡ししてきました。

**【要望書の概要】**

・米国テロ、イラク戦争、北朝鮮の核問題など国際関係の緊張の高まりは原子力発電所立地住民にとって潜在的な不安。あらゆる事態に備えた万全の対策と不測の事態に至らないよう平和的解決に向けた外交上の取り組み、とりわけ近々予定されている訪米時の首脳会談において真剣な外交上の話し合いを要望。

なお、要望書は市のホームページをご覧下さい。

**Q** 空からのテロにはどういう配慮がしてあるのか。

**A** (東京電力) 飛行機がぶつかった場合でも、原子炉周囲の厚さ2mの鉄筋コンクリートで十分持ちこたえられると評価している。また、建物の配置により横から直接建物にぶつかるのは難しく、上からは訓練された戦闘機を除き、難しい。ミサイルについては命中精度もあるが、工学的には配慮しており、政治的な事柄でもあり、そういうことが起きないようにすることが大事。

**Q** 津波が発生した場合、従業員入口等から建物に海水が入る心配はないのか。

**A** (東京電力) 重要な施設が水没することのないよう高さや建物の設計を配慮している。

**最後に刈羽村長から閉会のあいさつがありました。**

**刈羽村長あいさつ**

閉会のあいさつということでですが、御礼を申し上げます。皆さん、それぞれ仕事をお持ちで、時間の制約もある中、今日、第1回目を開くことができ